

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・後期・A群	
	対象学科・専攻	電気電子工学科、電子制御工学科、都市環境デザイン工学科	
線形代数Ⅱ (Linear Algebra Ⅱ)	担当教員	嶋根紀仁 (Shimane, Norihito)	
	教員室	一般科目棟3F (TEL: 42-9047)	
	E-Mail	shimane@kagoshima-ct.ac.jp (□には@を入力)	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 15回		
[本科目の目標]			
(1) 行列や逆行列についての基本事項を学び、連立1次方程式への応用を考える。			
(2) 行列式についての基本事項を学び、連立1次方程式への応用や図形的意味を考える。			
[本科目の位置付け]			
(1) 数学基礎Ⅰ～Ⅳおよび線形代数Ⅰの知識を前提とする。			
(2) 行列および行列式は数学・自然科学および専門科目の基礎として多くの分野で利用されている。			
[学習上の留意点]			
(1) 教科書等を参考に予習を行い、講義に臨むこと。			
(2) 受講後は要点をまとめ、問題演習を行い、学習内容の定着をはかること。			
(3) 各自、問題集などを解き、具体的な問題の解法を体得すること。			
(4) 疑問点は質問を行い、後に残さないように心がけること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 行列	10	行列の定義や成分の意味が理解できる 行ベクトルや列ベクトルの意味が理解できる 零行列の意味が理解できる 行列の和、差、スカラー倍の定義が理解でき、それに関する計算ができる 行列の積の定義が理解でき、その計算ができる 単位行列の意味が理解できる 逆行列や正則の意味が理解でき、2次の正方行列の逆行列の計算ができる 逆行列を用いて、2元連立1次方程式を解くことができる	教科書P. 163～P. 176を読み、概要を把握しておく
2. 行列式 ——後期中間試験——	4	行列式の定義が理解できる 2次や3次の行列式の計算ができる 授業項目1, 2について達成度を確認する	教科書P. 190～P. 194を読み、概要を把握しておく
3. 行列式 (続き) ——後期末試験——	14	行列式の性質が理解でき、行列式の値を求めることができる 余因子の意味が理解できる 行列式の展開ができ、それに関する計算ができる 余因子を用いて逆行列を求めることができる クラメル公式が理解でき、これを用いて連立1次方程式を解くことができる 掃き出し法が理解でき、これを用いて連立1次方程式を解くことができる 掃き出し法を用いて逆行列を求めることができる 授業項目3について達成度を確認する	教科書P. 194～P. 213を読み、概要を把握しておく
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解できる	

